

NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者	
	施設でその人らしい暮らしを支える	A-1①	豊かな日常生活を支える	<p>その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中で支援の在り方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にしたり取り組みなど、現場での実践事例を持ち寄り学びあいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・その人のQOLからつながるリハビリや外出支援などの取り組み ・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫の実践 ・チームケア、多職種協働による実践 ・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしたりしたケアの取り組み ・医療ニーズへの対応と課題 ・感染予防対策の取り組み ・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べることを大切にしたりした実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・調理現場における個別対応と調理の工夫 ・サービス機関との連携、地域資源の活用 	兵庫 甲斐園 施設長 中野 由理	群馬 鎌名誠の園 大実賢 亨	
		A-1②	豊かな日常生活を支える 【※手話通訳あり】			岡山 中野けんせいえん 施設長 竹永 徹	兵庫 淡路ふくろうの郷 理事長 大矢 暉
		A-2	認知症のケアを考える			静岡 芳川の里 施設長 小杉山 敬	愛知 シルバーピアかりや 施設長 早川 昌宏
		A-3	重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り等)			熊本 たくまの里 施設長 作取 久	調整中
A		A-4	食について考える		大阪 いのこの里 部長 佐々木 政布	調整中	
	有料ホーム・ケアハウス・サ高住居などの多様な住まいの機能と役割を考える	A-5	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住居等多様な住まいの機能と役割	<p>高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付きの高齢者住宅、有料老人ホーム（住宅型、介護付き）、グループリビングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になりえるのか、また安心の住まい「終いの継家」になりえるのか、事例をもちより、現状と課題を議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・中重度者への対応 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・地域でのネットワークと連携 	愛知 ケアハウスすこやか 副施設長 森田 由美子	宮城 宮城厚生福祉会 介護事業統括責任者 丸田 礼子	
	介護老人ホームの役割と課題を考える	A-6	介護老人ホーム	<p>介護老人ホームの役割と今度の運営について、現状課題や固有の問題について議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人ホームの在り方、利用者への生活支援 ・精神疾患等のある利用者への支援 ・「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応 ・ショートステイの取り組み ・自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態 	大阪 城東介護老人ホーム 施設長 塩見 一弥	岡山 岡山会場の里 施設長 藤岡 理恵	

NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
B	在宅生活を支援する	B-1	短期入所の取り組みを中心に	在宅生活を支援するシヨーステイのデイサービスの役割や課題、地域のネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応についての実践事例を持ち寄り学びあひましよう。 ・シヨーステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ・認知症高齢者のシヨーステイ、デイサービスでの支援の工夫 ・デイサービスの役割と求められるニーズの変化、レクリエーション活動等の工夫 ・在宅介護を支える上での家族支援の取り組み、世帯単位での支援の在り方 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・緊急シヨーステイの受け入れ（高齢者虐待での対応等）	兵庫 KOBEC須磨さくらえん 在宅部長 小林 大洋	千葉 やわら木苑 総合サービス室長 伊藤 裕之
		B-2	通所介護の取り組み		東京 白十字八国苑 施設長 吉田 裕	大阪 結いの里 施設長 阿部 裕一郎
		B-3	困難事例など 地域包括ケアと総合事業	高齢者は地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活課題を抱えます。安心して暮らすことのできる地域づくり、コミュニティについて、また市町村独自の制度などその人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。 ・地域包括ケアの新たな役割と課題 ・アセスメントとリスク管理、情報共有 ・多問題家族や独居、老老家族など困難事例への取り組み ・障害のある家族支援の取り組み ・総合事業の課題と成果	調整中	兵庫 甲山福祉センター 地域支援コーディネーター 川内 光子
		B-4	在宅を支える訪問事業	(訪問介護、訪問看護、訪問リハ、訪問歯科、訪問入浴) 度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、独居認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。 ・サービス提供責任者の主張・・・「やりがいはあるけど、なんとかしてよ！この現実」 ・生活支援の専門性・・・「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ヘルパーの担う「医療行為」・・・研修制度、事故のリスクなど考えておきたいこと ・この家で最期まで・・・在宅での看取りの実態 ・介護報酬改定における訪問介護現場での影響と支援	調整中	兵庫 あしや豊楽苑 部長 大西 明美
B-4	グループホームケア 小規模多機能施設	(グループホーム・小規模多機能施設) 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームの在り方、重固化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。住み慣れた地域で暮らし続けるために「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして、創設されましたが、報酬上での問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支援する取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。 ・グループホームでのケアの在り方、実践、役割、地域とのかかわり ・小規模多機能施設の役割と地域連携、認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題	京都 生活支援総合センター姉小路 施設長 宮本 武史	島根 ひまわり園 ★調整中★		

NO.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
C	安心・安全な生活を考える	C	安心・安全な生活	<p>日常生活の中には多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように捉えるかで、利用者の生活のあり様がかわることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生した事故から学んだこと、再発防止、改善の工夫 ・身体拘束廃止、虐待防止の取り組みと課題、オンブズマンや第三者機関活動の実例 ・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践、高齢者の生活とリスクマネジメントについて ・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり、事故対応のマニュアルとその活かし方 <p>職員が誇りと自信をもって元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実現できる職場づくりについて話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の活性化につながる取り組み、チームワークや協力・連携への課題。・研修制度、職員育成の工夫や悩み。 ・自身の考えや意見を本音でぶつけあい、職場の問題にとりくんだ事例 ・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて ・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて ・8K（希望・輝き・絆・きづき・きらめき・感謝・感動）を感じた瞬間 	京都 ライプリイきぬかけ 事務長 藤田 隼平	調整中
D	介護の悩みや誇りを語り合おう	D	職場づくり	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境の中、「実務の要」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりのうえでもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫 ・事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用。情報管理の工夫。情報公開の課題。 ・事務部門からみた介護保険制度の問題 ・民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加。・全職員参加の運営、処遇改善に向けた取り組み。 <p>利用者・入居者の「豊かな生活」を実現するためには、介護従事者だけでなく、家族・地域住民との連携が不可欠です。家族介護者への支援、家族介護者の課題や悩みなどから施設と家族（家族会）、施設と地域の繋がりなど、『家族』『地域』について議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会活動の現状と課題、家族とのケアパートナーシップ ・家族等介護者への支援と課題、家族介護の家族の本音とその支援 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題、地域のインフォーマルな共同組織活動 ・施設における地域貢献活動内容の現状と課題 	千葉 やわら木苑 施設長 阿部 孝志	宮城 宮城厚生福祉会 事務局長 大内 誠
F	家族や地域との関わりを考える	F	家族や地域との関わり	<p>利用者・入居者の「豊かな生活」を実現するためには、介護従事者だけでなく、家族・地域住民との連携が不可欠です。家族介護者への支援、家族介護者の課題や悩みなどから施設と家族（家族会）、施設と地域の繋がりなど、『家族』『地域』について議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会活動の現状と課題、家族とのケアパートナーシップ ・家族等介護者への支援と課題、家族介護の家族の本音とその支援 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題、地域のインフォーマルな共同組織活動 ・施設における地域貢献活動内容の現状と課題 	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修
G	「ちょっと聞いてよ、私の話」	G	集え！発表初心者・とにかく語りたいたい人。	A～Fの分科会に少し合わないと思われる方、発表経験が無い・少ない方で「こんな初歩的なことで良いの？」「ハードルが高い」等、人前で発表する機会をもちたいが躊躇してしまう方、短時間でも大丈夫です。経験の為に活用できる分科会です。	京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	

分科会演題募集

職員研究交流集会の分科会には毎年 100 本を超えるレポートが提出され、有意義な実践交流が図られます。日々豊かな実践を積み重ねている全国の皆さんの報告を、全国の仲間と分かち合いませんか。あなたの実践は、他の仲間の『希望のあかり』になるかもしれません。

分科会一覧表をご参照の上、発表をご検討ください。

今年は「ちょっと聞いてよ、私の話」と題して、テーマ設定に縛られない分科会を設定しました。発表の形式にとらわれず、どなたでもチャレンジしてください！若手職員の発表デビューの場としても活用いただきたいと思います。

発表いただける方は、以下をご覧の上、エントリーをお願いいたします。

① エントリー 提出期限 8月31日(木)



～撮影年月日 2016年11月5日～
2017/07/06 14:44:45
お知らせ

- 第6回関東ブロック中堅職員研修 実行委員会ニュースVol1です [2017/07/06]
- 2017年度総会終了しました [2017/07/01]
- 21・老福連 2017年度総会のご案内 [2017/05/08]
- 新事務所に移転しました。 [2017/03/23]
- 全国老人ホーム施設長アンケート結果 速報版パンフ 完成 [2017/02/24]

more ...

管理

© Cokumen 2.81

主張・活動の紹介 ...老福連の活動を紹介します。
老福連とは ...老福連のなりたち。
意見交換 ...掲示板です。いろいろな議題で意見交換を。
交流のひろば ...会員施設の行事やとりくみを紹介。
交流誌・集会資料等 ...これまで集会の記録、発行誌「バックナンバー」などはこちら。
リンク
福祉の最新情報 ...福祉・介護の情報をお知らせします。

エントリーは 21・老福連のホームページから

トップ画面

「交流誌・集会資料等」をクリック



「職員研究交流集会」をクリックし、
「分科会の演題発表エントリーはこちらから」
をクリック



演題エントリーフォームの必要事項を入力し、
送信を押してください

● 交流誌・集会資料等

総会・施設長会議 職員研究交流集会 **ブロックの取組** 会員施設からの話題 情報交流誌

◆第17回職員研究交流集会(兵庫県 神戸市) ◆2017.12.9～12.11

○会員のみならず、協力のお礼。NEW!

・広告・協賛の依頼文書(PDF)

分科会の演題発表エントリーはこちらから

◆第16回職員研究交流集会(愛知県 豊橋市) ◆2016.11.5～11.7

○分科会の記録者のみならずへ

演題エントリーフォーム

21老福連 職員研究交流集会(愛知 分科会の演題エントリーフォームです。ご入力いただいた内容については、今回の大会事務以外の用途では使用いたしません。)

*必須

施設名 *

回答を入力

施設名 ふりがな *

回答を入力

施設種別 *

特別養護老人ホーム

養護老人ホーム

ケアハウス

○送信後、ご入力いただいたメールアドレス宛に確認メールが届きます。必ず内容の確認をお願いいたします。(メール不着の場合、エントリー失敗の可能性あります。その際は別記、お問い合わせ先までご連絡ください)

○エントリー受付後、分科会によって演題数に大きな差異が生じた場合は演題数の調整を行います。希望する分科会から別の分科会に移っていただくこともありますので、予めご了承ください。



② 発表原稿・抄録の提出 提出期限 9月30日(土)

「発表原稿」および当日配布の資料に掲載する「抄録」を、下記の通り提出いただくようお願いいたします。

【発表原稿の作成方法】

- 発表原稿は当日発表する内容です。印刷・配布は行いませんが、座長・助言者が分科会の進行、助言の参考にします。(当日までに文言、趣旨を変えない範囲で多少の変更は可能です)
- Word でまとめて下さい。
《Word ファイル名》 [分科会 No][県名][施設名][氏名][発表タイトル]
(例) A-2 兵庫 神戸の森 三宮次郎 在宅での看取り支援

【抄録作成方法】

- 21・老福連ホームページ第 17 回職員研究交流集会開催要項のページから「21・老福連第 17 回職員研究交流集会 演題抄録用紙」をダウンロードのうえ、作成ください。
- 抄録は発表原稿をベースにまとめて下さい。
- **抄録は当日配布資料に掲載しますので、指定の A4用紙 1 枚におさめて下さい(厳守)**
- レポートの末尾に、発表者施設の連絡先(問合せ先)を明記ください。
《Word ファイル名》 [分科会 No][県名][施設名][氏名]
(例) A-2 兵庫 神戸の森 三宮次郎

【提出方法】

発表原稿・抄録提出先

- メールにて「発表原稿」と「抄録」の Word ファイルを添付の上、下記へお送り下さい。

E-mail : 21roufukuren@gmail.com

- メールの件名は、[分科会 No] [氏名][発表タイトル] として下さい。

【その他】

事前エントリーされた内容に基づいて発表をお願いします。発表にあたって、利用者等個人情報の取り扱いについては、事前に同意を得る等、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願いいたします。研究交流集会に参加できなかった方々とも実践交流を図る趣旨で、発表された内容を「ゆたかなくらし」誌の 21・老福連のページに掲載することもありますのでご承知おきください。





③ パワーポイントについて 提出期限 10月31日(火)

【パワーポイントを使用して発表される場合】

・使用機材について

発表に使用する機材はWindowsパソコン・プロジェクターとし、主催者側で準備いたします。スピーカー、DVD プレイヤー、レーザーポインター等はありませんのでご留意ください。

・データ形式について

データ形式は以下の通りとします。

- a) 使用ソフトウェア : パワーポイント
- b) 動 画 : 環境に依存し、再生が担保出来ないため使用不可
- c) フォント(書体) : Windows 付属の標準フォントをご使用下さい

・発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンにパワーポイントのファイルをコピーしておきます。予め動作確認等は主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的に操作は各自が責任を持って行ってください。ご不明な点がありましたら、下記に連絡をお願いいたします。

・データの事前提出

予め発表データを下記住所に送付いただきますようお願いいたします。提出はCD-RまたはDVD-Rにてお願いいたします。提出いただいたデータは返却をいたしませんのでご了承ください。

提出期限：10月31日(火) 必着



当日配布資料は、参加者用として各自で印刷の上、ご持参ください。必要な部数は、参加者数が確定してからお伝えします。

送付先 お問い合わせ先はこちら

お気軽にお問い合わせください

〒659-0043 兵庫県芦屋市潮見町31-1

電話:0797-34-9287 Fax:0797-34-9292

あしや喜楽苑(担当:前川)E-mail: 21roufukuren@gmail.com (研究集会期間中のみのアドレスになります)

